

RACE REPORT

SUPER FORMULA 2021 — P.MU/CERUMO・INGING Race Report

ROUND.

6

ツインリンクもてぎ

決勝

10月17日(日)

天候:曇りのち晴れ コース状況:ウェット/ドライ

朝から小雨の降りしきるサーキット。午前のフリー走行時はとうとう本降りとなり、30分の走行でスピンが相次ぐ。38号車坪井も開始早々単独スピンからフロントノーズを破損したがピットに戻りスペアに交換し走行を続けた。阪口5番手、坪井14番手で走行を終える。

#38 坪井 翔	リタイア
#39 阪口 晴南	2位



日中、気温は上がることなく見る見る下がって行き、決勝のスタート時には、14度と冬の気温まで下がった。

サポートレースの間には時折強い雨脚も見られたが、その後雨も上がり14時45分フォーメーションラップ開始。路面は、まだ十分に雨を含んでいる状態だった為、2台はウェットタイヤを装着し決勝（35周最大70分）に挑んだ。

5番手からスタートした阪口は、オープニングラップに1つポジションを上げ4位、8周目には3号車をパスし3位となる。

一方、9番手スタートの坪井は、1周目で7号車にパスされ10位となるが、7周目にポジションを奪い返し9位。9周目、3号車がピットに向かい1つポジションを上げ8位。

10周目、4号車がスピンしコースアウト。それと同時にチームは阪口、坪井をピットへ向かわせた。11周目にはセーフティーカー導入され、2台共スリックタイヤに交換し阪口5位、坪井11位でコース復帰。路面もだいぶ乾いて来た14周目、レースが再開した。その周、坪井は3号車にパスされ12位。

レース再開と同時に太陽が顔を出すも、路面はまだウェットタイヤに有利で、ステイアウトしたウェット勢3台がレースをリードした。

しかし15周目にはレコードラインが乾き始める。5号車がピットへ向かい、阪口は4番手、坪井は11番手へ上がる。

16周目ステイアウトしていたウェットタイヤの1号車、20号車がピットへ向かい、阪口2位、坪井9位へ。この周、12号車が単独スピンしクラッシュ、2度目のセーフティーカーが導入された。

20周目、レースリスタート。坪井は7号車との競り合いの中で、濡れた路面を走りグリップを失いスピンを喫した。また同時に1号車と20号車もクラッシュ、3度目のセーフティーカーが導入された。ここで3台がリタイヤとなった。

24周目リスタート。阪口は懸命にトップを追い続け、27周目トップの15号車に果敢に仕かけ並びかけるも完全にオーバーテイクするには至らず。しかし、コースに留まることが難しい路面コンディションの中、荒れたレースで、阪口は今季2度目の2位表彰台を獲得した。

2台にとって明暗を分ける結果となってしまったが、2週間後に迫った鈴鹿ラウンドは、今季の最終戦となる。ここまで苦しい戦いの続いてきたシーズンを勝利で締めくくり、来シーズンの飛躍につながるようチーム一丸となって戦いに挑む。



ドライバー #38 坪井 翔

「序盤は天候が微妙だったので、乾いていく路面でウェットがどこまで持たせられるかというのが重要でした。タイヤの温め方がうまくいかず、ペースが上がらず、温まってからは良かったのでチャンスがあるかと思っていました。SCのタイミングでピットインしてスリックに換え、また頑張ると温まるとまたSCという感じでした。SCあけは、7号車に煽られるほど自分が遅かったです。その7号車との競り合いでスピンをしてしまいました。ポイント圏内を走っていたのに、また完走率が低いのは残念です。チームを引っ張る立場なのでもっと頑張りたいと思います」

ドライバー #39 阪口 晴南

「ピットの指示が完璧で、スリックで送り出してくれた結果の2位でした。乗っている身としては、スリックはリスクだろうと思っていました。他のチームでも判断は分かれたと思うのですが、先を見越して換えてくれたので良かったです。勝てそうなチャンスがSFではなかなか無く難しいですが、前回の2位とは訳が違って、今回は勝てそうな2位でレース展開も良くしっかり走り切ったので悔しいですね。チームのみなさんの仕事もGOOD JOBでした。ありがとうございました、次も頑張ります！」



監督 立川 祐路

「今日の決勝もレース前に雨が止み、スタートはウェットでしたが乾くという難しいシチュエーションでのレースでした。戦略もうまく行ったと思います。SC後、坪井がスピンしてレースを終えてしまったのは残念でしたね。阪口は、その分スタートから順調にいて、スリックにするタイミングもSCのタイミングで換えられて良かったと思います。難しいコンディションの中頑張ってくれた結果2度目の2位でした。ワンチャンス、トップに仕かけるタイミングもありました。惜しかったですが、次こそは優勝を目指したいですね。応援ありがとうございました」



RESULTS/RANKING

正式決勝結果（上位10台+抜粋）

Pos	No	Driver	Type	Car	Time/ Behind
1	15	大津 弘樹	HONDA/M-TEC HR-417E	Red Bull MUGEN Team Goh	1:09'37.200
2	39	阪口 晴南	TOYOTA/TRD-01F	P.MU/CERUMO INGING	1.706
3	6	牧野 任祐	HONDA/M-TEC HR-417E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	5.267
4	19	関口 雄飛	TOYOTA/TRD-01F	carenex TEAM IMPUL	6.358
5	16	野尻 智紀	HONDA/M-TEC HR-417E	TEAM MUGEN	6.754
6	51	松下 信治	HONDA/M-TEC HR-417E	B-Max Racing Team	8.630
7	36	中島 一貴	TOYOTA/TRD-01F	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	9.714
8	3	山下 健太	TOYOTA/TRD-01F	KONDO RACING	12.707
9	37	宮田 莉朋	TOYOTA/TRD-01F	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	14.990
10	7	小林 可夢偉	TOYOTA/TRD-01F	KCMG	17.362
-	38	坪井 翔	TOYOTA/TRD-01F	P.MU/CERUMO INGING	14Laps

ドライバースタンディング （2021シーズン 上位5名+抜粋）

Pos	No	Driver	Point
1	16	野尻 智紀	80
2	19	関口 雄飛	47.5
3	64	大湯 都史樹	41
4	39	阪口 晴南	35.5
5	5	福住 仁嶺	34
14	38	坪井 翔	6

チームスタンディング （2021シーズン 上位5チーム）

Pos	Team	Point
1	carenex TEAM IMPUL	73
2	TEAM MUGEN	71
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	69
4	TCS NAKAJIMA RACING	47
5	P.MU/CERUMO INGING	37.5



U-SPORTS Wednesday

GOLF MOTOR SPORTS

「U-SPORTS Wednesday」は毎週水曜日にワクワクするスポーツ情報をYouTubeを通じて発信する「スポーツ情報局」是非ご覧ください！！チャンネル登録もよろしくお願いいたします。



【SUPER FORMULA 2021 Rd.5 ツインリンクもてぎ】P.MU/CERUMO・INGINGは後半戦 初戦をどう戦ったのか？